

令和4年度第1回認知症施策検討委員会 要旨

日時 令和4年7月26日(火)

13:30～15:15

場所 高梁市役所3階大会議室

1. 開 会

あいさつ

内岡所長

お忙しい中委員を引き受けて、ご参加いただきありがとうございます。認知症の方の状態に合わせた適切な支援が地域でできるよう、委員会の中で検討していきたい。委員の皆様のご意見をお願いします。今後もコロナウイルス感染に留意して活動をお願いしたいと思います。

2. 自己紹介

(名簿のとおり)

川崎医療福祉大学 実習生2名参加

3. 委員長の選出について

委員長：河本良二委員、副委員長：青木菜奈委員

河本委員長あいさつ

3年前より国から認知症理解推進大綱が示され、認知症の方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり、市民、行政、関係機関が集まり、必要な支援についてこの委員会のなかで検討できればと思います。今後ともよろしく申し上げます。

青木副委員長あいさつ

認知症の方が暮らしやすい、地域づくりを話し合いながら貢献できればと思っています。委員の皆様のご意見をよろしく申し上げます。

4. 協議事項

- ① 令和3年度の認知症総合支援事業及び認知症施策検討委員会の実績について
(別紙のとおり)
- ② 令和4年度の認知症総合支援事業計画及び重点活動について
(別紙のとおり)

③ 令和4年度アルツハイマー月間取り組みについて
(別紙のとおり)

意見

- ・昨年度高梁高校の生徒にロバ隊長を作ってもらおうという意見が出ていたがどうなっているか。
⇒高梁高校に依頼する予定

休憩《10分》

④ 認知症ケアパスの見直しについて

【グループワーク】

発表

1G

- ・「認知症かも」という単語には見る人には抵抗がある。
- ・チェック項目後の相談先を分かるように表示するといい。
- ・相談先が書かれてあっても本人自身だけでは相談が難しい。家族と一緒にできるように工夫する。
- ・相談するメリットを記載。
- ・絵や図を用いてわかりやすく。
- ・MCI、初期、中期認知症のそれぞれの段階に合わせた内容にする。

2G

- ・情報量の多さが気になる。
- ・ケアパスには絵もあるが文章だけでは抵抗感がある。
- ・「相談を」の後に受診についてのことが書いてある。相談先の記載を。
- ・気づいてもらいたい対象へのアプローチ
⇒段階を追って少しずつ気づいてもらう。その後相談やフォローに繋げる。
- ・対象に合わせた内容に。
- ・興味を引く内容で「今の生活を続けられます」などの文言を入れる。

5. その他

- ・認知症サポーター養成講座チラシ紹介
- ・在宅服薬指導、服薬支援ロボの紹介について
- ・誰でも簡単自分史づくり紹介
- ・ボランティア養成講座受講者募集について
- ・認知症理解推進キャンペーンパネル展示スタッフ依頼について

第2回認知症施策検討委員会について

日時：令和4年11月29日（火） 13：30～

場所：調整中

6. 閉 会

青木副委員長あいさつ

初めて参加される方もいましたが、活発な意見が出ていたと思います。認知症本人への支援について関係者間での話し合いや地域づくりが大切になってくると思います。今後もよろしくお願ひします。

※青木副委員長より、高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議
第1回高梁部会研修会（8/29）の案内あり。